

分類 A-2-①-ア  
分類 B-1-②-ウ

インターネットを用いた効果的な情報の検索と検証の方法  
情報の全体的な特徴や要点を捉え、新たな考えや意味を見出す

### 楽器演奏における主体的思考の育成

HYOGO スクールエバンジェリスト 兵庫県立北須磨高等学校 能島 秀邦

|  |         |                 |
|--|---------|-----------------|
| 本時の目標<br>・バイオリンの楽器の特性を知り、いかに演奏技術を高めるか思考し、表現する。 | 校種・学年   | 高等学校・1年         |
|  | 教科・領域   | 芸術(音楽)          |
|  | アプリ・ソフト | ・Teams<br>・Miro |
|  | 備考      |                 |

#### ○本時の展開

|     |   |
|-----|---|
|     | ○学習活動(◆指導上の留意点)   |
| 導入  | ○本時の学習活動の確認<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">バイオリンの特性を知り、表情豊かな演奏をするための基本的奏法を学ぶ。</div>  |
| 展開  | ○バイオリンの特性・歴史をWebで調べ、付箋ソフトに記入し共有する。<br>◆演奏の前に理解を深め、主体的に演奏できるようにさせる。<br>○バイオリンの基本的奏法について Web で調べ、付箋ソフトに記入し共有し、実際の演奏活動に活かす。<br>◆演奏で確かめながら、異なる留意点についてはさらに付箋ソフトに記入させる。 |
| まとめ | ○同じ曲の優秀な演奏を聴き、表現について考えさせ、自らの演奏との違いを見つけ、次時に活かす。<br>◆次時への目標を持たせる。   |

#### 育成できる情報活用能力

◎Web 等での情報収集により、有益な情報を整理し、発信させることができる。

#### 育成できる情報活用能力

◎初めに書き込まれた演奏技法上の注意事項にさらに加筆することにより、情報の新たな意味を見出すことができ、アウトプットできる。



#### 生徒の感想

- ・新しい楽器に触れることができ、嬉しかった。
- ・楽器の特性や歴史を調べることで様々なことが分かったし、やりたいって気持ちが大きくなった。

#### <情報活用能力の育成とその効果>

- ・主体的に情報検索させることで、知識を高めるだけでなく、主体的な姿勢、演奏に対する向上心を高めることができる。